



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社ベビーカレンダー 上場取引所 東  
コード番号 7363 URL https://corp.baby-calendar.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 安田 啓司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 竹林 慶治 TEL 03-6631-3600  
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の業績 (2023年1月1日～2023年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	305	16.6	19	142.6	19	146.1	11	187.0
2022年12月期第1四半期	262	6.8	8	△67.8	7	△41.4	4	△46.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	13.05	12.72
2022年12月期第1四半期	4.43	4.22

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,125	817	72.5
2022年12月期	1,129	805	71.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 817百万円 2022年12月期 805百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,257	15.9	80	110.0	79	114.1	51	142.5	56.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	941,700株	2022年12月期	941,700株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	40,032株	2022年12月期	40,032株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	901,668株	2022年12月期1Q	923,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され国内の経済活動の回復の兆しが見える一方で、国際情勢は不透明な状態が続いております。このような経営環境のもと、当社は「女性の笑顔でいっぱい A Sea of Smiling Women」をビジョンに掲げて、女性の一生をサポートするための情報発信を軸とした事業をメインに、産婦人科や不妊治療施設など全国の医療機関向けにITを介したソリューションを提供する事業を展開しております。

こうした取り組みの結果、当第1四半期累計期間の売上高は305,762千円（前年同期比16.6%増）、売上総利益は203,899千円（前年同期比12.5%増）、営業利益は19,544千円（前年同期比142.6%増）となり、経常利益は19,369千円（前年同期比146.1%増）、四半期純利益は11,769千円（前年同期比187.0%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期会計期間より報告セグメントを事業の実態に即して、従来の「産婦人科向け事業」から「医療法人向け事業」にセグメント名を変更しております。これは、これまでの産婦人科施設及びクリニックに加えて、様々な医療機関へ領域を拡大したことによります。

#### (メディア事業)

メディア事業は、「妊娠・出産・育児」領域の専門サイト「ベビーカレンダー」及び「ムーンカレンダー」「ウーマンカレンダー」「介護カレンダー」の運営を行い、①PV連動型広告、②タイアップ広告、③成果報酬型広告の3つの活動をしてまいりました。当社運営サイト「ベビーカレンダー」はPV数及びUU数ともに計画通りに順調に推移しております。また、累積の登録会員数が増加するなど認知度がアップしたことにより、広告販売枠も伸長しております。

この結果、同セグメントの売上高は206,410千円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は55,442千円（前年同期比9.1%減）となりました。

#### (医療法人向け事業)

医療法人向け事業は、医療機関が抱える様々な課題に対して、「ベビーパッドシリーズ」、「エコー動画館」、「かんたん診察予約システム」、「おぎゃー写真館・動画館」及び「ホームページ制作」といった、ITを介したソリューションの拡販を継続しております。今期は「エコー動画館」に特に注力し、主力サービスの「ベビーパッドシリーズ」と並ぶよう拡販を進めております。

この結果、同セグメントの売上高は99,352千円（前年同期比67.4%増）、セグメント利益は24,104千円（前年同期は4,334千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ3,382千円増加し、929,183千円となりました。これは、主に売掛金が22,101千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金の返済により現金及び預金が12,873千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ7,448千円減少し、196,661千円となりました。これは、主に減価償却により無形固定資産が8,461千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,066千円減少し、1,125,844千円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ17,933千円増加し、227,267千円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が3,312千円減少したものの流動負債のその他に含まれる前受金が10,321千円、未払消費税が11,888千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ33,530千円減少し、81,500千円となりました。これは、主に長期借入金33,467千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて15,596千円減少し、308,768千円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ11,530千円増加し、817,076千円となりました。これは、主に四半期

純利益の計上により利益剰余金を11,769千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年2月14日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であると見込んでおりますが、当業績予想について修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	716,414	703,540
売掛金	151,293	173,394
貯蔵品	27,968	30,701
その他	31,188	22,591
貸倒引当金	△1,063	△1,044
流動資産合計	925,800	929,183
固定資産		
有形固定資産	7,272	8,533
無形固定資産		
ソフトウェア	131,778	126,533
その他	26,856	23,640
無形固定資産合計	158,635	150,174
投資その他の資産		
その他	41,441	41,193
貸倒引当金	△3,239	△3,239
投資その他の資産合計	38,201	37,954
固定資産合計	204,110	196,661
資産合計	1,129,910	1,125,844
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,458	27,735
1年内返済予定の長期借入金	103,580	100,268
未払法人税等	—	111
その他	81,295	99,152
流動負債合計	209,334	227,267
固定負債		
長期借入金	107,864	74,397
資産除去債務	7,081	7,103
その他	85	—
固定負債合計	115,031	81,500
負債合計	324,365	308,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	285,030	285,030
資本剰余金	415,626	415,626
利益剰余金	197,930	209,699
自己株式	△91,957	△91,957
株主資本合計	806,629	818,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,083	△1,322
評価・換算差額等合計	△1,083	△1,322
純資産合計	805,545	817,076
負債純資産合計	1,129,910	1,125,844

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	262,102	305,762
売上原価	80,927	101,863
売上総利益	181,174	203,899
販売費及び一般管理費	173,121	184,355
営業利益	8,053	19,544
営業外収益		
受取利息	3	3
その他	44	—
営業外収益合計	48	3
営業外費用		
支払利息	223	178
その他	8	—
営業外費用合計	231	178
経常利益	7,869	19,369
税引前四半期純利益	7,869	19,369
法人税、住民税及び事業税	416	7,590
法人税等調整額	3,353	9
法人税等合計	3,769	7,599
四半期純利益	4,099	11,769



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。この変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	メディア事業	医療法人向け事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	202,778	32,661	235,439
その他の収益	—	26,662	26,662
外部顧客への売上高	202,778	59,323	262,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	202,778	59,323	262,102
セグメント利益又は損失(△)	60,994	△4,334	56,660

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	56,660
のれん償却額	△2,944
全社費用(注)	△45,662
四半期損益計算書の営業利益	8,053

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは、従来「メディア事業」「産婦人科向け事業」「Webマーケティング事業」に区分しておりましたが、当第1四半期会計期間より「メディア事業」「産婦人科向け事業」に変更しております。これは「産婦人科向け事業」「Webマーケティング事業」ともに主として医療機関向けのサービスを提供していることから、今後の事業展開を見据え、事業実態に即して報告セグメントを変更するものであります。

## II 当第1四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	メディア事業	医療法人向け事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	206,410	30,765	237,175
その他の収益	—	68,587	68,587
外部顧客への売上高	206,410	99,352	305,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	206,410	99,352	305,762
セグメント利益又は損失(△)	55,442	24,104	79,544

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	79,544
のれん償却額	△2,944
全社費用(注)	△57,058
四半期損益計算書の営業利益	19,544

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは、従来「メディア事業」「産婦人科向け事業」に区分しておりましたが、当第1四半期会計期間より「産婦人科向け事業」の名称を「医療法人向け事業」に変更しております。これは「医療法人向け事業」のサービスは、産婦人科のみならず様々な医療機関向けへと拡大していることから、事業実態に即して報告セグメントの名称を変更するものであります。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。